

綱 引 協 会

1. 平成25年度役員氏名

- |           |       |           |       |
|-----------|-------|-----------|-------|
| (1) 会 長   | 北東 俊夫 | (2) 副 会 長 | 村尾 幸夫 |
| (3) 理 事 長 | 小川 紘暉 | (4) 評 議 員 | 小川 紘暉 |
| (5) 連絡責任者 | 田川 俊男 |           |       |

2. 平成25年度活動目標

スポーツ活動の中に綱引きを普及するとともに審判技術と資質の向上を図り富山県綱引連盟や加盟団体相互の連絡・親交を深め、綱引きの発展を活動の柱とする。

3. 平成25年度主な活動

- (1) 富山市民体育大会綱引競技会の実施
- (2) 地域における綱引競技の普及・振興並びに共催・後援等
- (3) 綱引審判員の養成並びに資質の向上を目指し、講習会等の開催
- (4) 県内・県外の綱引競技大会への審判員の派遣
- (5) ファミリー・ジュニア層への綱引きの普及
- (6) その他、目標達成に必要な事業

4. 平成25年度主な事業報告

- |                            |         |
|----------------------------|---------|
| ・富山県綱引連盟総会                 | 4月 6日   |
| ・富山市綱引協会総会                 | 4月26日   |
| ・第22回富山県スポレク祭・男女混合綱引大会     | 5月25日   |
| ・北信越綱引審判員実技講習会（新潟市）        | 7月28日   |
| ・第3回北信越綱引交流大会（新潟市）         | 7月28日   |
| ・第32回富山県綱引選手権大会役員・審判員派遣    | 12月 8日  |
| ・第9回富山市民体育大会綱引競技会          | 12月15日  |
| ・2014年全日本綱引選手権大会審判員派遣（東京都） | 3月1日～2日 |
| ・他 県内や北信越地区の各綱引大会に審判員派遣    | 年間      |

5. その他の特記事項

全国スポレク祭・男女混合綱引交流会が幕引きとなった全国の綱引き愛好者は、各ブロックの大会を希望、北信越ブロックでも男女混合綱引交流会の開催を決定した。平成24年度の第1回大会は、新潟で開催され、本年は富山県が開催することとなった。

綱引競技人口の低迷は、各県同様の悩みを持ち、このブロック交流会がチームの普及と振興に一役を担ってほしいものである。

6. 次年度の課題

綱引きは、8名の選手が綱を4m引き合う競技であり、チームワークが最も重要な種目である。練習でチームワークの確立並びに選手の育成、審判員の養成が重要課題として位置づけ、ファミリーやジュニア層への普及・振興を一層推進する必要がある。

第9回市民綱引交流会

平成25年12月15日（日） 2000年体育館にて開催

ジュニアの部試合風景



閉会式・表彰式風景



綱 引 協 会
---------

1. 平成26年度役員氏名

- |           |       |           |       |
|-----------|-------|-----------|-------|
| (1) 会 長   | 北東 俊夫 | (2) 副 会 長 | 村尾 幸夫 |
| (3) 理 事 長 | 小川 紘暉 | (4) 評 議 員 | 小川 紘暉 |
| (5) 連絡責任者 | 田川 俊男 |           |       |

2. 平成26年度活動目標

スポーツ活動の中に綱引きを普及するとともに審判技術と資質の向上を図り富山県綱引連盟や加盟団体相互の連絡・親交を深め、綱引きの発展を活動の柱とする。

3. 平成26年度主な活動計画

- |                            |         |
|----------------------------|---------|
| ・富山県綱引連盟総会                 | 4月19日   |
| ・富山市綱引協会総会                 | 4月26日   |
| ・第23回富山県スポレク祭・男女混合綱引大会     | 5月25日   |
| ・北信越綱引審判員実技講習会（富山県）        | 7月27日   |
| ・第4回北信越綱引交流大会（富山県）         | 7月27日   |
| ・第33回富山県綱引選手権大会役員・審判員派遣    | 12月 7日  |
| ・第10回富山市民体育大会綱引競技会         | 12月14日  |
| ・2015年全日本綱引選手権大会審判員派遣（東京都） | 3月7日～8日 |
| ・他 県内や北信越地区の各綱引大会に審判員派遣    | 年間      |

4. その他の特記事項と課題

綱引競技人口の低迷は、各県同様の悩みを持っており、大会派遣に要する経費も大きく、北信越ブロック5県の役員会にてブロック大会を毎年北信越の中心である富山県にて開催を切望され、県綱引連盟役員会で開催を承認、平成25年度から富山県にてブロックの綱引交流会を開催することとなった。

なお、綱引競技は、地域の運動会で行う大人数の綱引きではなく、8名ずつの選手で8名の合計体重が決められ、綱を4m自分のチーム側に引き合う競技であり、チームワークが最も重要な競技である。練習でチームワークの確立や選手の育成が必要となっている。併せて、審判員の養成やファミリーの部、ジュニアの部への普及活動と綱引の振興を今後一層推進する必要がある。